

第1回「『船舶勘定見直し方針』フォローアップに関する懇談会議事概要

1. 日 時：平成17年10月11日（火） 10:00～12:00

2. 場 所：国土交通省10階海事局会議室

3. 出席者

[委員] 今橋委員長、阿部委員、奥委員、玉木委員、中西委員

[オブザーバー] 星野国土交通省海事局長

大庭(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事

[事務局] 大塚国土交通省大臣官房参事官、

増井(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構特別管理部長

4. 議事

(1) 「船舶勘定見直し方針」について説明

(2) 船舶勘定の平成16年度決算について説明

(3) 定量的指標について

5. 議事経過

事務局より資料に基づいて「船舶勘定見直し方針」及び船舶勘定の平成16年度決算について説明及び質疑応答を行い、その後、事務局より定量的指標について説明し、委員による議論を行った。

<主な議事の概要>

「船舶勘定見直し方針」の債務超過の見込みは中位シナリオだと思う。場合によっては、悪いシナリオのときの想定も必要かもしれない。

債権回収において、返済がネットワークのよい民間金融機関に回ってしまい、機構には返済されない場合は、不公平だと主張して抵抗するべき。

事業者の財務状況の判断は日常の接触からかぎ取る部分もあるので、リスク判定システムだけを信用するのではなく、その他の要素をも加味してリスク判断をするべき。

債務者からだけでなく、民間金融機関からも情報を得るようにするべき。

見込んだ事業量を達成できるよう、頑張って取り組んでほしい。

指標は重層構造になっている。債務超過及び繰越欠損金のチェックの他に、それ以外の要素分析も行うこととする。